

令和3年9月7日

学校法人 実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
学校関係者評価委員会

令和2年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を令和3年8月31日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 開催日時

・令和3年8月31日（火） 16時00分～16時45分

2. 場所

・本校 302 講義室

3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

長谷川 清司 （元高等学校校長）

斉藤 等 （株式会社アイネット 管理部 部長）

石井 真吾 （株式会社ソフタス 総務部 採用担当）

榘谷 都由 （イシイ株式会社 マーケティング部 取締役）

小林 均 （株式会社太洋社印刷所 総務部 部長）

高木 静枝 （保護者）

高野 和美 （保護者）

小河原 昌希（卒業生）

本校からの出席者：

永嶋 龍次（理事長）、坂本 健司（副理事長）、前川 一也（校長）、高野 庸夫（副校長）、大木 健一（教務部長代理）、深野 敦史（教務課長）、杉浦 真一（総務・広報課長）

4. 学校関係者評価委員会次第

① 開会

② 理事長挨拶

- ③ 議長選任
- ④ 自己点検・評価結果の説明（校長）
- ⑤ 委員による評価および意見交換
- ⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「令和2年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「令和2年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成
3.教育活動		

評価項目	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成
	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評価項目	4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	普通
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	ほぼ達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成
5.学生支援		
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	未達成

目	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	達成
	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成
6.教育環境		
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成
7.学生の募集と受け入れ		
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成
	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成

10.社会貢献		
評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	未達成
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通

●委員からの意見

- ・退学者の状況について、コロナの影響があったかを教えて欲しい。
- ・コロナ対策として、4月から6月は課題学習、分散登校、短縮授業で、7月から通常授業を再開した。このため、何名かの学生が学校生活に順応できず退学した。他に、家庭環境の影響や、入学時の希望とのミスマッチなどが退学理由になっている。(本校)
- ・自己点検・評価報告書の5-26「課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか」が未達成なのはコロナの影響なのか。
- ・密集と密接を避けるためであり、コロナの影響である。(本校)
- ・自己点検・評価報告書の4-18「就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか」が普通なのはコロナの影響なのか。
- ・コロナのため求人数が減少したことに加え、通常の就職活動もできず厳しい状況であった。(本校)
- ・自己点検・評価報告書の10-45「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか」が未達成の理由を教えて欲しい。
- ・コロナのため、例年受け入れていた近隣小学校からの見学依頼を、今年度は受入れ困難と回答している。また、検定試験会場の提供も断った。(本校)
- ・社会貢献は重要である。コンピュータの学校としての特質を生かした社会貢献ができるといいのではないか。
- ・高校でも社会貢献の一環として学校開放など実施している。コロナ対策として私の出身大学から寄付の依頼があった。本校では困窮した学生への支援は実施しているのか。
- ・本校は授業料免除制度がある。さらに、日本学生支援機構の奨学金制度や高等教育の修学支援新制度がある。(本校)
- ・本校で実施する検定試験のときにスクールバスがない理由を教えて欲しい。
- ・検定実施日にオープンキャンパスでスクールバスを利用することが多いためである。また、休日運行による費用増加も避けたいと考えている。(本校)
- ・コロナ禍においても、できるだけ授業を実施して欲しい。また、就職状況も改善して欲しい。
- ・授業時数の確保については、埼玉県からの通達もあり、必要な授業は実施している。就職指導に関しては、Zoomによる会社説明会や面接に対応できる指導などを実施してい

る。(本校)

- コロナ対応として、Web 会議などリモートワークが活用されている。本校におけるリモート活用に対する方針を教えて欲しい。
- 授業は対面実施がベストであるが、リモート授業を実施することも検討したい。(本校)

以上